

赤川 砂防だより



国土交通省

みんなで防ごう土砂災害

発行：新庄河川事務所
赤川砂防出張所

第92号：平成28年12月

笹根トンネル 開通!!



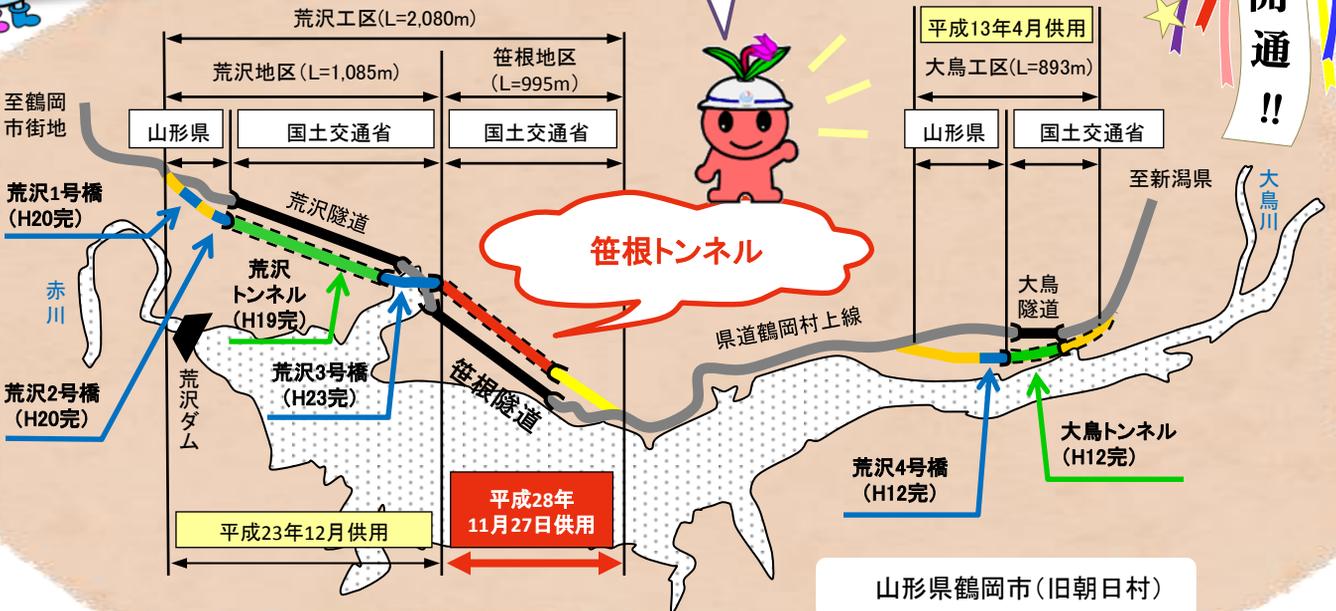
平成28年11月27日、鶴岡市荒沢で「**笹根トンネル**」の開通式が行われました。

今回の完成をもって、平成9年度から国土交通省と山形県とで進めてきた「**一般県道鶴岡村上線荒沢・大鳥地区道路改良事業**」が完了します。

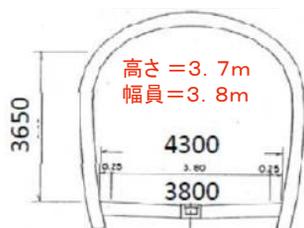
開通式には関係者約70名が参加し、国土交通省の西山砂防部長や細谷山形県副知事などによる祝辞の後、地元住民を代表して、旧朝日村村長の佐藤征勝さんが開通の喜びを語りました。

そして、改良区間が全線開通したことにより、荒沢ダム上流域の砂防事業の効率化や、地元住民の利便性向上に繋がることを期待し、テープカットとくす玉割で開通を祝いました。

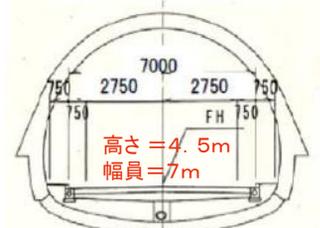
赤川水系の国直轄砂防事業は、昭和62年度に着手してからこれまで19基の砂防堰堤を整備し、事業を進めています。しかし上流の荒廃地状況からすれば、今後も数多くの大型砂防施設が必要になります。荒沢ダム上流域での砂防施設建設にあたり、一般県道鶴岡村上線は工事用道路として唯一のルートです。しかし旧道の幅員では大型車両の通行が困難だったため、工事用道路の整備が必要でした。そのため、改良計画があった山形県と国土交通省は、平成9年度から工事用道路と県道の改築計画との合併施工に着手しました。



整備前／笹根隧道



整備後／笹根トンネル



庄内地区第2回安全パトロール

10月28日、赤川砂防出張所と立谷沢川砂防出張所及び、それぞれの工事を担当する施工業者とが合同で「平成28年度庄内地区第2回安全パトロール」を実施しました。

総勢37名が立谷沢川砂防出張所管内の工事現場の点検を行い、安全に施工するためにはどのように工夫すればいいのか、どのように危険を予知して管理体制を整えればいいのかを検討しました。

※改善の必要があった箇所については、後日速やかに正されました。

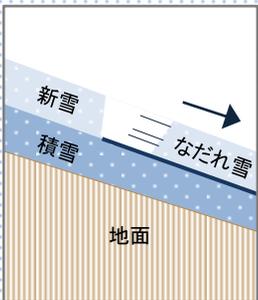


伐採木提供無事終了しました!

赤川砂防出張所では、資源の有効活用とコスト削減を図るため、工事の際に発生した伐採木の無償提供を行いました。当出張所の隣地に山積みされた伐採木を見ると、すべて提供しきれぬのかと考えてしまうほどでしたが、訪れた方々には大好評で、たくさんの伐採木を提供することができました。「薪ストーブで利用します」という方が多く見受けられ、この冬さっそく活用していただけるようでした。今回もたくさんの方々にお申し込みいただき、ありがとうございました!

雪崩とは、山の斜面に降り積もった雪が重量の作用により、下方に高速で移動する自然現象です。厳冬期や春先に発生しやすく、傾斜が30度以上の急斜面や、低木林やまばらな植生の斜面では雪崩発生の危険が高くなっています。

…… 厳冬期、特に注意すべき【表層雪崩】 ……



1~2月頃に起きやすい「表層雪崩」は、古い積雪面に降り積もった新雪が滑り落ちる現象です。(※左図)

最大で200kmもの速度で滑り落ちるため、破壊力が強大で被害範囲も広がります。日頃から危険箇所や気象情報に注意しましょう。

雪崩に注意!!



雪崩の前兆を発見しても近づかない！
すぐに最寄りの役場や警察署、消防署へ通報してください！

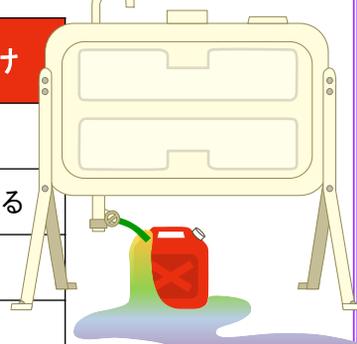
ご家庭のホームタンク大丈夫ですか?

暖房の使用が増える冬期は、ホームタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流出する事故が多発しています。ホームタンクから灯油を小分けしている間にその場を離れてしまったり、配管に気づかず除雪したことで破損してしまったりなど、多くが**人的ミス**によるものです。

油流出事故では原因者が費用負担することになります。灯油などの油類の取り扱いには引き続きご注意ください!

油流出事故防止の心がけ

1. その場を離れない
2. 配管の場所に目印を立てる
3. 落雪に注意
4. 定期点検を怠らない



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 赤川砂防出張所

〒 997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合 2 2 7

TEL : 0235 (53) 2841 FAX : 0235 (53) 2807

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/>



くわしくは
こちらの
QRコードを
どうぞ!

